



# ラーニングプログラムが問う 「あなたならどうする？」

宮城県 南三陸町観光協会

## 1 はじめに

東日本大震災から12年が経過し、各被災地には伝承施設ができ、様々なかたちで津波の恐ろしさや脅威について伝えられています。その多くは、震災遺構やその街の出来事を展示することにより伝承されています。年月が経過するにつれて震災経験の有無にかかわらず、被災地に住む人であっても、災害はどこか遠くの出来事として捉えられ、自分のための防災として活かされにくいという課題があります。

そこで、自然災害を自分事として考える「ラーニングプログラム」をメインコンテンツとして、昨年10月にオープンしたのが「南三陸311メモリアル」です。

## 2 東日本大震災伝承館「南三陸311メモリアル」とは？

### ① 施設紹介

南三陸311メモリアルは、震災を経験した町民の証言をもとに、対話によって命を守ることにたいして想いを深める「ラーニングプログラム」を取り入れた、新たなカタ



東日本大震災伝承館「南三陸311メモリアル」

チの伝承館です。当時の体験談を聞き、自分がその場にいたらどう考えどう行動するかを問いかけることによって、自然災害を自分ごととして考えます。そして、感じたことをみんなで共有し、対話することで、自分と異なる視点や見解に触れて新たな発見を生み出します。いつか災害に見舞われたときに発揮される「命を守る力」を育み、ひとりひとりの防災力向上につなげます。

### ② “自分の防災を考え・持ち帰る”

#### 「ラーニングプログラム」

災害時の対応は状況によって千差万別で、ひとりひとりの判断力が求められます。とっさの判断を左右するのは、経験に基づく行動規範であり、体験を通して学ぶことが大切です。ラーニングプログラムでは、津波災害を経験したことがない人でも自分ごととして考えやすいように、状況だけではなく南三陸町民のそのときの心情や背景までを大切に描いています。体験談は様々ですが、例えば命に係わる危険な状況下に、考えられる選択肢がいずれも危険をはらんでいる場面で、「もしその場にいたら、どうしますか」というように問いかけられ、1分間の対話タイムが設けられています。問いかけは何度もあり、①あなたの地域では、どんな自然災害が考えられますか②避難先がもし使えなくなったら、どこに避難しますか③避難経路に起こりうる想定外の出来事を想像してください等、判断力を高めるものです。90名以上の証言インタビューの中から選ばれた教訓につながる体験で、それを現地だから感じられる想い



ラーニングシアター

ラーニングシアターでは約45分のレギュラープログラムを上映しており、これを切り分けた約15分ほどのショートバージョンも提供しています。上映時間が決まっているため、上映スケジュールや空き状況を確認の上、事前予約をおすすめします。(公式ホームページ <https://m311m.jp/> TEL 0226-28-9215)

の中で、疑似体験して持ち帰っていただきます。

絶対の正解がない中で、考えを共有し、配布されたミニブックに書き留め、帰宅後もラーニングシアターで見聞きしたこと、感じたこと、発見したことをご家族とも共有し、対話を続けていただくことが、いつか災害に見舞われたときに発揮される命を守る力につながると信じています。

### 3 今後に向けて ～教訓を活かして備えよう～

ラーニングプログラムは大変ご好評いただいております。開館以来、南三陸311メモリアルには10万人が訪れています(本年5月現在)。お客様からは「被災された方が時間をかけて言葉にした当時の記憶や今に至るまでの心理的な葛藤を、ふらっと観光に来た人も聞ける施設であることに衝撃を受けた」、「ラーニングプログラムでは、来場者同士が自分の生活レベルでの災害を考える機会となり、非常食は準備しているが、実際に被災した際のあらゆるケースにおけるシミュレーションが全くできていない自分に気づくことができた」などの感想をいただいております。



展示ギャラリー入口

展望デッキからの眺め  
中橋の奥には防災対策庁舎が見える

津波の伝承館というと、震災遺構や遺物等を展示し、「ここでは大変な被害があったのですね」という感想を持ちながら見学する施設をイメージしがちですが、南三陸311メモリアルは、南三陸町民の話を聞き、周りにいる人と話し合い、自分にはないものを得て、自然災害から命を守るために、私たちの経験を活かしてもらうための施設です。東日本大震災で全国世界から沢山の支援をいただきました。その恩返しとして、命がけの体験のなかから得た学びを皆様にお伝えすることこそ被災地の使命と考え取り組んでいます。

今後も様々な災害発生のおそれが予想されます。被災した防災対策庁舎を含む「南三陸町震災復興祈念公園」と併せて、自ら学び考え続けるために南三陸311メモリアルのラーニングプログラムを是非一度ご利用いただければと願っております。